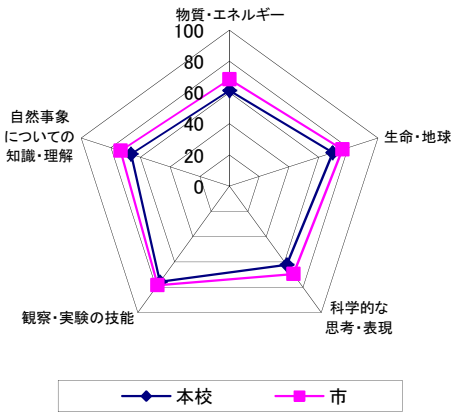


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	61.3	68.3	68.1
	生命・地球	69.5	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	62.3	69.7	68.0
	観察・実験の技能	75.8	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	66.4	73.4	73.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	本校の正答率は、61.3%で市の正答率68.3%を下回った。「ふりこのきまり」や「物の燃え方」等について再度指導する必要がある。	「ふりこのきまり」については、振り子の実験は、規則性が実験結果からはっきりと説明できる事象なので、授業記憶は高い。必要に応じて演示も交えて、データと実際の動きを実感させ、理解の定着を図る。「振り子は長さによって一往復する時間が変わるということ」を基本として押さえる。 「物の燃え方」では、ものの燃え方と空気の流れや気体検知管や石灰水を使ったものの燃える前後の空気の変化について整理する。気体検知管の使い方は、再実験し理解の定着を図る。
生命・地球	本校の正答率は、69.5%で市の正答率76%を下回った。「植物のからだのはたらき」や「動物のからだのはたらき」等について再度指導する必要がある。	「植物のからだのはたらき」については、水の通り道は根→茎→葉→蒸散という経路があること、葉に日光が当たるとでんぷんができることを基本的なこととして押さえる。水の通り道については色水を用いて、でんぷんについては葉にアルミ箔を付ける実験を想起させるようにする。 「動物のからだのはたらき」については、体内各部の名称とその働きを明確にする必要があるが、生きていくために必要な消化、吸収、排出、呼吸、血液循環と関連付けてまとめるようにする。また映像資料や模型を用いて理解を深めたい。